

## 生涯幸せプロジェクト

竹村帆乃佳 篠原明日香 丸山生織

### 概要

本別町に住んでいる障がい者が、本別町で幸せに暮らすことをテーマとし、障がいの理解を深める啓発をすることにより課題を解決するプロジェクト。

#### 1. はじめに

知人や友人に障がいを持つ人がいるため、将来本別町でどのように生活をしていくのかが気になったため、障がいについての理解を深めれば、障がい者も、周りの町民も安心して幸せに暮らせると考え活動を開始した。

#### 2. 課題について

障がいについての理解を深める。

障がい者の雇用率についても検討してみたが、現状分析を行う中で、障がいについての理解を深めるという課題で落ち着いた。

#### 3. 現状分析について

本別町総合ケアセンターが実施した「障がいのある人が暮らしやすくするためにはどうしたらよいか」というアンケートにおいて、「障がいのある人に対する周りの理解を深めてほしい」との回答が1番多かった。(複数回答、町内の障がい者330人が対象)

#### 4. 仮説について

「小学生から社会人にかけて、障がいについて学び偏見をなくす」

差別や偏見をなくすためには、継続的な教育が必要であると考え、義務教育の始まりである小学生から設定した。学ぶことによって、差別や偏見がなくなり、適切な対応をとることが可能になるのではないかと考えた。差別や偏見をなくすことにより障がい者が暮らしやすい町になるのではないかと考えた。

#### 5. 解決策について

「障がいを題材とした漫画を、絵の上手な人と一緒に制作する」

このプロジェクトは「小学生」をターゲットにしているため、差別や偏見、そこから発展するいじめ

を防ぐために、障がいに関することについて、障がいは「個性」であるということ啓発する内容とすることとした。

#### 6. 成果と課題

##### [成果]

- ・漫画の下書きを1つ作成することができた。
- ・事業所見学をしたことで我々の障がいに対する理解や、新しい課題を発見することができた。

##### [課題]

- ・小学校でどのように障がい教育を行っているのか、現状調査を行う必要性があった。
- ・早い段階で専門の人に聞く必要があった。

#### 7. まとめ

今後、活動予定がはっきりとしていないため、活動は一度停止する。活動を再開する場合は、以下のことを実施していきたい。

- ・漫画を制作し、小学校で配布してもらう。
- ・作品をインターネットで公開。
- ・高校のホームページや、公式インスタグラム等と一緒に活動してくれる人を募集する。

なお、活動を1年生に引き継いでもらった場合も同様である。

#### 参考文献

本別町第2次障がい総合福祉計画：(8) 今後力を入れてほしい施策 障がいのある人が暮らしやすくなるために必要なこと p35[図1]

## 生涯幸せプロジェクト

篠原明日香 竹村帆乃佳 丸山生織

### 概要

身近に障がいを持つ方がいたことから、障がい者が暮らしやすい町にすることをテーマとし、障がいについて理解を啓発をすることを課題としたプロジェクトについて報告する。

#### 1. はじめに

知人に障がいをもつ人がいたため、どのように生活するか気になった。

障がい者が暮らしやすくなれば、障がいのある人もない人も不安が軽減されると考える。

#### 2. 課題について

障がい者についての就職率について考えたが、取り組めるものについての検討材料が少なく変更し、障がいについて周囲の人達の理解を深める内容とした。現状分析と自身の経験などからこの課題が取り組みやすいと考えた。

#### 3. 現状分析について

障がいのある人が暮らしやすくするためにはどうしたらよいかというアンケートで、障がいのある人に対する周りの理解を深めてほしいと答えた人が一番多い。(別紙：複数回答、町内の障がい者 330 人を対象)

#### 4. 仮説について

「小学生から社会人にかけて、障がいについて学び差別をなくす」をテーマとして、差別、偏見をなくすためには継続的な教育が必要と考え、「小学生から社会人にかけて」と設定した。

差別、偏見がなくなる、適切な対応をとれるようにすることで、障がい者が暮らしやすい町になると考える。

#### 5. 解決策について

「障がいについての漫画を絵の上手な人と一緒に製作する」という考えのもとに、今回のプロジェクトでは小学生をターゲットとし、差別、偏見、いじめをなくすために障がいとはどのようなものか、障がいは個性であるという考えについての内容にする。

#### 6. 成果と課題

##### [成果]

- ・漫画の下書きを1テーマ作ることができた。
- ・班員とお互いに考えを伝えたり、質問をすることができた。
- ・解決策の案を多く出し、メリット、デメリットを考えらることができた。

##### [課題]

- ・現状分析でデータの数が少なかった。
- ・相談不足
- ・解決策検討で前例を調べられなかった
- ・事業所見学の目的が曖昧だった。

#### 7. まとめ

議会での発表を終えたため、一旦これで活動は終了することとなるが、活動を継続することがあれば以下の点について、活動を進めていくと良いと考える。

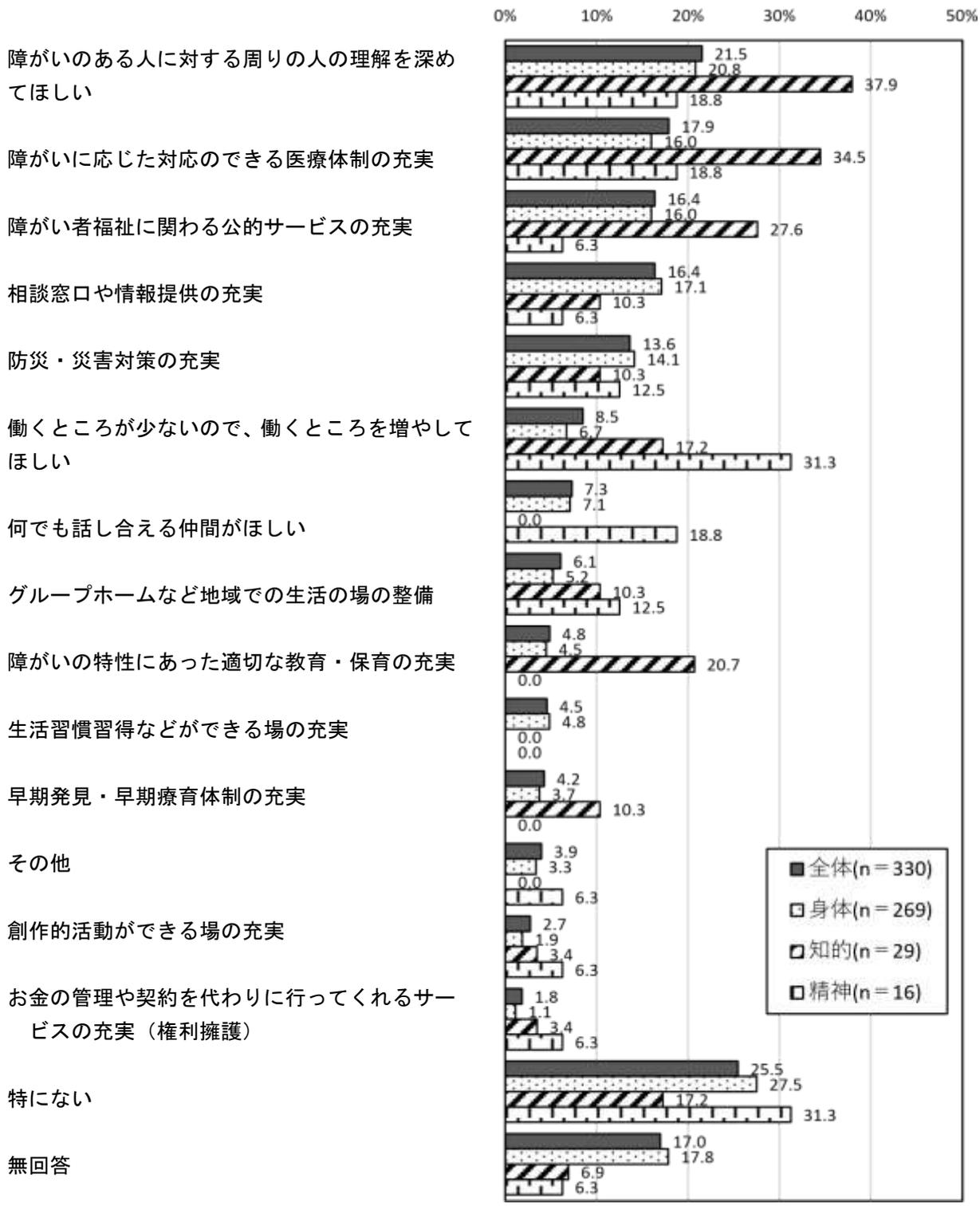
- ・作品を完成させる。
- ・作品についてアンケートの実施する。
- ・障がい教育を充実させるよう学校に依頼する。
- ・町外にインターネットで公開する。

なお、既に、漫画の下書きの製作、下書きの清書が可能な段階までできている状況であるので、今後取り組む機会があればと考える。

このプロジェクトを進めるにあたり、ご協力していただいた包括ケア研究所の藤井さん、コーチの飛田さん、堀田さん、事業所見学をさせていただいた羽賀さん、本別町の障がい者福祉担当の竹村さん、ありがとうございました。

#### 参考文献

- ・本別町第2次障がい総合福祉計画：(8)今後力を入れてほしい施策 障がいのある人が暮らしやすくなるために必要なこと p35[図1]



[図：本別町第2次障がい総合福祉計画]

(8)今後力を入れてほしい施策 障がいのある人が暮らしやすくなるために必要なこと

## 生涯幸せプロジェクト

丸山生織 竹村帆乃佳 篠原明日香

### 概要

身近に障がいを持つ方がいたことから、障がい者が暮らしやすい町にすることをテーマとし、障がいについて理解の啓発を図ることについての課題設定したプロジェクトについて報告する。

#### 1. はじめに

知人に障がいをもつ人がいたため、どのように生活するか気になったことから、「現状に何か困っていることがあるのでは」と考え、暮らしやすくなれば、障がいのある人もない人も不安が軽減されると考えた。

#### 2. 課題について

障がい者についての就職率について考えたが、取り組めるものについての検討材料が少なくどのように調べればいいのかわからず変更し、障がいについて周囲の人達の理解を深める内容とした。現状分析と自身の経験などからこの課題が取り組みやすいと考えた。

#### 3. 現状分析について

障がいのある人が暮らしやすくするためにはどうしたらよいかというアンケートで、障がいのある人に対する周りの理解を深めてほしいと答えた人が一番多い。(別紙：複数回答、町内の障がい者 330 人を対象)

#### 4. 仮説について

「小学生から社会人にかけて、障がいについて学び差別をなくす」をテーマとして、差別、偏見をなくすためには継続的な教育が必要と考え、「小学生から社会人にかけて」と設定した。

差別、偏見がなくなる、適切な対応をとれるようにすることで、障がい者が暮らしやすく、助け合える町になると考えた。

#### 5. 解決策について

「障がいについての漫画を絵の上手な人と一緒に製作する」と考え、今回のプロジェクトでは小学生をターゲットとしているので、差別、偏見、いじめをなくすために障がいとはどのようなものか、障がいは個性であるという考えについての内容の漫画を作成することとした。

#### 6. 成果と課題

##### [成果]

- ・漫画の下書きを1テーマ作ることができた。
- ・班員とお互いに考えを伝え、質問をすることができた。
- ・解決策の案を多く出し、メリット、デメリットを考えることができた。
- ・色々な意見を出すことができた。

##### [課題]

- ・現状分析でデータの数が少なかった。
- ・相談不足
- ・解決策検討で前例を調べられなかった
- ・事業所見学の目的が曖昧だった。
- ・考えることが多くまとめられなかった。

#### 7. まとめ

議会での発表を終えたため、一旦これで活動は終了することとなるが、活動を継続することがあれば以下の点について、活動を進めていくと良いと考える。

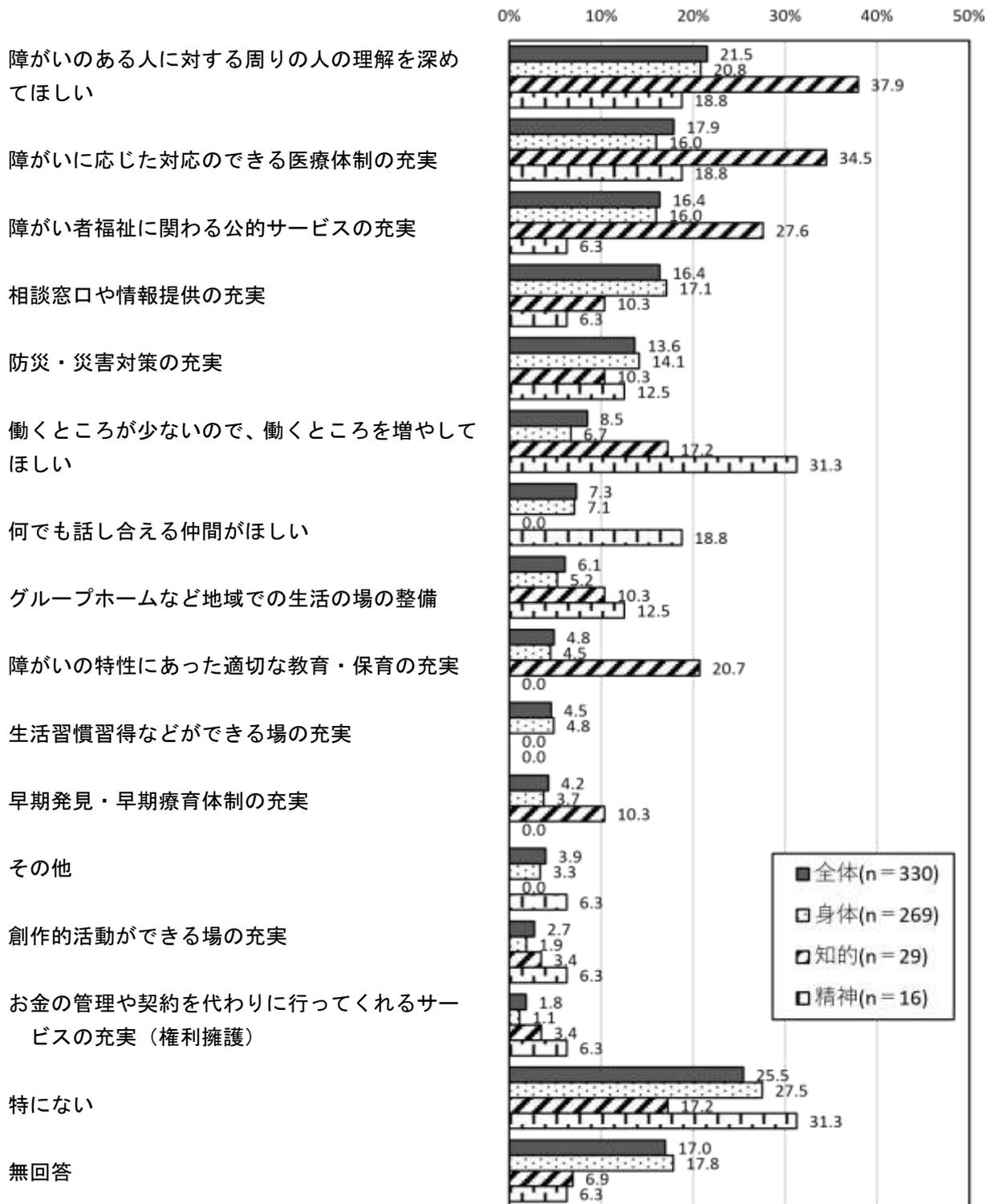
- ・作品を完成させる
- ・作品についてアンケートの実施する
- ・漫画製作の依頼をする。
- ・障がい教育を充実させるよう学校に依頼する
- ・町外にインターネットで公開する

なお、既に、漫画の下書きの製作、下書きの清書が可能な段階までできている状況であるので、今後取り組む機会があればと考える。

このプロジェクトを進めるにあたり、ご協力していただいた包括ケア研究所 藤井さん、コーチの飛田さん、堀田さん、事業所見学をさせていただいた羽賀さん、本別町の障がい者福祉担当の竹村さん、ありがとうございました。

#### 参考文献

- ・本別町第2次障がい総合福祉計画：(8)今後力を入れてほしい施策 障がいのある人が暮らしやすくなるために必要なこと p35[図1]



[図：本別町第2次障がい総合福祉計画]

(8)今後力を入れてほしい施策 障がいのある人が暮らしやすくなるために必要なこと